



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月12日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東
 コード番号 4301 URL http://www.amuse.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 畠中 達郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 宮腰 俊男 TEL 03-5457-3358
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収入 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第3四半期 | 29,806 | 14.0 | 3,336 | 22.1 | 3,544 | 22.6 | 2,227 | 32.6 |
| 26年3月期第3四半期 | 26,154 | 2.0 | 2,732 | △26.0 | 2,891 | △23.7 | 1,680 | △25.9 |

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 2,412百万円 (34.5%) 26年3月期第3四半期 1,794百万円 (△22.7%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第3四半期 | 258.08 | — |
| 26年3月期第3四半期 | 189.77 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年3月期第3四半期 | 30,724 | 20,723 | 61.0 |
| 26年3月期 | 24,791 | 17,215 | 67.6 |

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 18,755百万円 26年3月期 16,755百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 22.50 | — | 22.50 | 45.00 |
| 27年3月期 | — | 15.00 | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | — | — | 15.00 | 30.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

26年3月期第2四半期末及び期末配当の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 7円50銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 営業収入 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 35,450 | 5.0 | 3,300 | △9.5 | 3,400 | △9.8 | 2,100 | △4.8 | 243.25 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 3社（社名）AMUSE ENTERTAINMENT SINGAPORE Pte.Ltd.、Amuse Group USA, Inc.、Amusequest Tokyo Tower有限責任事業組合
(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 27年3月期3Q | 9,311,760株 | 26年3月期 | 9,311,760株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年3月期3Q | 679,969株 | 26年3月期 | 678,541株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 27年3月期3Q | 8,632,596株 | 26年3月期3Q | 8,854,026株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 5 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 5 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 5 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 5 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 9 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 11 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| (重要な後発事象) | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当第3四半期連結累計期間の経営成績)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 増減 | 増減率 (%) |
|--------|--|--|-------|------------|
| 営業収入 | 26,154 | 29,806 | 3,651 | 14.0 |
| 営業利益 | 2,732 | 3,336 | 604 | 22.1 |
| 経常利益 | 2,891 | 3,544 | 652 | 22.6 |
| 四半期純利益 | 1,680 | 2,227 | 547 | 32.6 |

〔経済状況〕

我が国経済は、政府、日銀の各種政策効果もあり、企業収益に一部改善の兆しも見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、消費税率引上げに伴う駆け込み需要反動の長期化、円安進行による輸入物価上昇など、個人消費を中心に懸念材料も多く、依然として先行き不透明な状況であります。

〔当社グループの事業概況〕

当社グループの経営成績は営業収入298億6百万円（前年同四半期比14.0%増）、営業利益33億3千6百万円（前年同四半期比22.1%増）、経常利益35億4千4百万円（前年同四半期比22.6%増）、四半期純利益22億2千7百万円（前年同四半期比32.6%増）となり、大型コンサートの実施により会場やオンラインショップで販売するグッズ販売収入も含め好調に推移し、増収増益となりました。

<営業収入>

- ・ 当社アーティストによるイベント収入（大型コンサート）が増加
- ・ コンサートに付随してグッズ販売収入が増加
- ・ 当社アーティスト出演作品が好調だったことにより、DVD販売収入が増加
上記要因などにより増収となりました。

<営業利益、経常利益、四半期純利益>

増収要因により増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(営業収入)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 増減 | 増減率 (%) |
|----------------|--|--|-------|------------|
| アーティストマネジメント事業 | 21,699 | 23,969 | 2,270 | 10.5 |
| メディアビジュアル事業 | 2,805 | 4,019 | 1,214 | 43.3 |
| コンテンツ事業 | 1,650 | 1,817 | 166 | 10.1 |
| 合計 | 26,154 | 29,806 | 3,651 | 14.0 |

(セグメント利益)

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 増減 | 増減率 (%) |
|----------------|--|--|-----|------------|
| アーティストマネジメント事業 | 2,743 | 3,060 | 316 | 11.5 |
| メディアビジュアル事業 | 39 | 275 | 236 | 606.4 |
| コンテンツ事業 | 535 | 624 | 89 | 16.7 |
| 調整額 | △586 | △624 | △38 | — |
| 合計 | 2,732 | 3,336 | 604 | 22.1 |

[アーティストマネジメント事業]

営業収入239億6千9百万円(前年同四半期比10.5%増)、セグメント利益30億6千万円(前年同四半期比11.5%増)となり、増収増益となりました。

[主な事業]

- ・ イベント収入: <コンサート>
 - 福山雅治(4-6月、11-12月)、Perfume(8-9月)
 - f l u m p o o l(4-8月)のコンサートツアー
 - サザンオールスターズの年越しライブ(12月)
 - ポルノグラフィティ、ONE OK ROCKのスタジアムライブ(9月)
 - BABYMETALのWORLD TOUR日本公演(9月)
 - 昨年度に引続き当社音楽アーティストが一堂に会した野外イベント
 - 「Amuse Fes 2014 BBQ inつま恋」(7月)
- <舞台・公演>
 - 熱海五郎一座「天然女房のスパイ大作戦」(6月)、ミュージカル「黒執事」(9月)
 - 若手俳優によるファン感謝祭「SUPERハンサムLIVE」(12月)
- ・ 商品売上収入: コンサートグッズ、福山雅治ツアーDVD、f l u m p o o lのベストアルバムなど
- ・ 出演収入・CM収入: 福山雅治、大泉洋、佐藤健、三浦春馬、深津絵里、上野樹里、吉高由里子など
- ・ 印税収入(新譜): 福山雅治(4月アルバムCD)、Perfume(4月DVD)

<営業収入>

- ・ イベント収入(大型コンサートの実施)が増加
(前年同四半期はサザンオールスターズ(8-9月)、ONE OK ROCK(5-6月)のコンサートツアー、福山雅治の年末ライブ(12月)、Perfumeドームライブ(12月)、熱海五郎一座(6-7月)、黒執事(5-6月)、SUPERハンサムLIVE(12月)などの舞台・公演を実施)
- ・ 商品売上収入が増加
上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により増益となりました。

[メディアビジュアル事業]

営業収入40億1千9百万円(前年同四半期比43.3%増)、セグメント利益2億7千5百万円(前年同四半期比606.4%増)となり、大幅な増収増益となりました。

[主な事業]

- ・ 映像作品販売収入: 邦画実写歴代6位を記録した「永遠の0」(7月)、福山雅治主演映画「そして父になる」(4月)、佐藤健主演映画「るろうに剣心 京都大火編」(12月)・「カノジョは嘘を愛しすぎてる」(6月)などのDVD販売収入
- ・ 映像製作収入: 「そして父になる」などの劇場配給分配収入

<営業収入>

- ・ 大ヒット映画「永遠の0」に加え、当社アーティスト主演作品が好調だったことにより、DVD販売収入が増加（前年同四半期は「真夏の方程式」（12月）、「ガリレオII」（9月）、「リアル〜完全なる首長竜の日〜」（12月）などを販売）
上記要因などにより大幅な増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により大幅な増益となりました。

[コンテンツ事業]

営業収入18億1千7百万円（前年同四半期比10.1%増）、セグメント利益6億2千4百万円（前年同四半期比16.7%増）となり、増収増益となりました。

[主な事業]

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfumeなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

<営業収入>

著作権印税の増加、PerfumeのVideoClip集の発売などにより増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結財政状態)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日) | 増減 |
|--------------|-------------------------|-------------------------------|--------|
| 総資産 (百万円) | 24,791 | 30,724 | 5,932 |
| 純資産 (百万円) | 17,215 | 20,723 | 3,507 |
| 自己資本比率 (%) | 67.6 | 61.0 | △6.6 |
| 1株当たり純資産 (円) | 1,940.83 | 2,172.86 | 232.03 |

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 増減 |
|------------------|--|--|-------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △978 | 2,171 | 3,150 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △974 | △1,117 | △142 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △363 | 1,088 | 1,452 |

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は307億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億3千2百万円増加いたしました。主な増加要因としては、流動資産「現金及び預金」及び流動資産「受取手形及び営業未収入金」の増加、固定資産「有形固定資産」及び固定資産「投資有価証券」の取得によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は100億円となり、前連結会計年度末に比べ24億2千4百万円増加いたしました。主な増加要因としては、流動負債「営業未払金」の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は207億2千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億7百万円増加いたしました。主な増加要因としては、「四半期純利益」の計上などによるものであります。この結果、自己資本比率は61.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ21億8千4百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には92億8百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は21億7千1百万円(前年同四半期は9億7千8百万円の使用)となりました。

これは、主に営業債権の増加及び法人税等の支払による資金減少要因等はありませんでしたが、税金等調整前四半期純利益及び営業債務の増加に伴う資金増加要因等が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は11億1千7百万円(前年同四半期は9億7千4百万円の使用)となりました。

これは、主に有形固定資産の取得、子会社株式の取得及び貸付けによる資金減少要因等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は10億8千8百万円(前年同四半期は3億6千3百万円の使用)となりました。

これは、主に配当金の支払による資金減少要因等はありませんでしたが、少数株主からの払込みによる資金増加要因等が上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期の業績は概ね予定通り推移しており、平成26年10月31日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、AMUSE ENTERTAINMENT SINGAPORE Pte.Ltd.、Amuse Group USA, Inc.及びAmusequest Tokyo Tower有限責任事業組合を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結累計期間において、㈱TOKYO FANTASY、㈱アミューズクエスト及び㈱インターグローヴプロダクションズを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日) |
|--------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,049,520 | 11,235,008 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 4,042,575 | 6,351,961 |
| 商品及び製品 | 1,297,490 | 1,472,131 |
| 仕掛品 | 1,921,201 | 1,617,129 |
| 貯蔵品 | 51,273 | 52,009 |
| その他 | 1,396,170 | 1,866,404 |
| 貸倒引当金 | △288,321 | △334,279 |
| 流動資産合計 | 18,469,911 | 22,260,365 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 1,005,643 | 1,101,237 |
| 土地 | 2,047,730 | 2,058,795 |
| その他(純額) | 185,342 | 1,280,332 |
| 有形固定資産合計 | 3,238,715 | 4,440,366 |
| 無形固定資産 | 198,723 | 191,768 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,352,153 | 1,587,712 |
| その他 | 1,538,270 | 2,167,741 |
| 貸倒引当金 | △6,096 | △6,075 |
| 投資その他の資産合計 | 2,884,327 | 3,749,379 |
| 固定資産合計 | 6,321,766 | 8,381,514 |
| 繰延資産 | | |
| 開業費 | — | 82,374 |
| 繰延資産合計 | — | 82,374 |
| 資産合計 | 24,791,678 | 30,724,253 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 営業未払金 | 5,185,239 | 6,969,479 |
| 未払法人税等 | 705,419 | 641,780 |
| 役員賞与引当金 | 25,000 | — |
| 返品調整引当金 | 7,400 | 19,100 |
| その他 | 675,541 | 1,349,073 |
| 流動負債合計 | 6,598,600 | 8,979,433 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 16,472 | 16,472 |
| 退職給付に係る負債 | 898,152 | 941,864 |
| その他 | 62,697 | 63,076 |
| 固定負債合計 | 977,322 | 1,021,413 |
| 負債合計 | 7,575,923 | 10,000,846 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,587,825 | 1,587,825 |
| 資本剰余金 | 1,694,890 | 1,694,918 |
| 利益剰余金 | 14,472,559 | 16,376,725 |
| 自己株式 | △924,923 | △928,745 |
| 株主資本合計 | 16,830,350 | 18,730,723 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18,335 | 29,608 |
| 為替換算調整勘定 | △93,052 | △4,647 |
| その他の包括利益累計額合計 | △74,716 | 24,960 |
| 少数株主持分 | 460,120 | 1,967,722 |
| 純資産合計 | 17,215,754 | 20,723,406 |
| 負債純資産合計 | 24,791,678 | 30,724,253 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 営業収入 | 26,154,913 | 29,806,511 |
| 営業原価 | 21,132,524 | 23,626,706 |
| 営業総利益 | 5,022,389 | 6,179,805 |
| 返品調整引当金繰入額 | — | 11,700 |
| 返品調整引当金戻入額 | 25,100 | — |
| 差引営業総利益 | 5,047,489 | 6,168,105 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,315,473 | 2,831,220 |
| 営業利益 | 2,732,015 | 3,336,884 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,240 | 5,877 |
| 受取配当金 | 5,058 | 15,239 |
| 為替差益 | 128,347 | 122,433 |
| 受取手数料 | 3,590 | 10,532 |
| 事業組合投資利益 | — | 30,652 |
| 持分法による投資利益 | 56,603 | 17,595 |
| その他 | 10,322 | 6,234 |
| 営業外収益合計 | 208,163 | 208,565 |
| 営業外費用 | | |
| 事業組合投資損失 | 44,355 | — |
| 固定資産除却損 | 4,321 | 1,067 |
| その他 | 6 | 246 |
| 営業外費用合計 | 48,683 | 1,314 |
| 経常利益 | 2,891,495 | 3,544,135 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,891,495 | 3,544,135 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,029,493 | 1,274,472 |
| 法人税等調整額 | 112,702 | △43,282 |
| 法人税等合計 | 1,142,196 | 1,231,190 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,749,299 | 2,312,944 |
| 少数株主利益 | 69,038 | 85,046 |
| 四半期純利益 | 1,680,260 | 2,227,898 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,749,299 | 2,312,944 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,992 | 11,272 |
| 為替換算調整勘定 | 35,976 | 88,404 |
| その他の包括利益合計 | 44,969 | 99,677 |
| 四半期包括利益 | 1,794,268 | 2,412,621 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,725,229 | 2,327,575 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 69,038 | 85,046 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,891,495 | 3,544,135 |
| 減価償却費 | 143,994 | 155,510 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 6,413 | 45,937 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △37,200 | △25,000 |
| 返品調整引当金の増減額(△は減少) | △25,100 | 11,700 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 13,161 | — |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | — | 43,711 |
| 受取利息及び受取配当金 | △9,299 | △21,116 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △56,603 | △17,595 |
| 事業組合投資損益(△は益) | 44,355 | △30,652 |
| 固定資産除却損 | 4,321 | 1,067 |
| 営業債権の増減額(△は増加) | △3,004,766 | △2,302,905 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △415,930 | 135,146 |
| 営業債務の増減額(△は減少) | 2,178,633 | 1,780,418 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 30,048 | 165,953 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | △636,445 | △281,275 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | △178,138 | 557,156 |
| その他 | △276,620 | △293,438 |
| 小計 | 672,318 | 3,468,752 |
| 利息及び配当金の受取額 | 9,001 | 15,264 |
| 法人税等の支払額 | △1,664,091 | △1,334,176 |
| 法人税等の還付額 | 4,457 | 21,889 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △978,314 | 2,171,729 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △2,502,680 | △1,500,993 |
| 定期預金の払戻による収入 | 2,000,000 | 2,500,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △35,082 | △1,320,320 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 5,000 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △49,341 | △63,492 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △276,361 | — |
| 子会社株式の取得による支出 | △72,628 | △200,459 |
| 子会社出資金の取得による支出 | — | △60,000 |
| 貸付けによる支出 | △6,097 | △227,620 |
| 貸付金の回収による収入 | 2,066 | 13,174 |
| 繰延資産の取得による支出 | — | △82,374 |
| その他 | △34,448 | △180,173 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △974,573 | △1,117,258 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △4,535 | △3,930 |
| 自己株式の売却による収入 | — | 137 |
| 少数株主からの払込みによる収入 | — | 1,433,500 |
| 配当金の支払額 | △332,218 | △322,928 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △19,530 | △10,944 |
| その他 | △7,711 | △7,425 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △363,995 | 1,088,409 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 44,314 | 41,613 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △2,272,568 | 2,184,493 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,126,336 | 7,024,401 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,853,767 | 9,208,895 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|----------------------------|-------------------------|---------------------|-------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | アーティスト マネージメント 事業 | メディア ビジュアル 事業 | コンテンツ 事業 | 計 | | |
| 営業収入 | | | | | | |
| 外部顧客への 営業収入 | 21,699,491 | 2,805,091 | 1,650,330 | 26,154,913 | — | 26,154,913 |
| セグメント間 の内部営業収 入又は振替高 | 44,630 | 195,919 | 73,664 | 314,213 | △314,213 | — |
| 計 | 21,744,121 | 3,001,010 | 1,723,994 | 26,469,127 | △314,213 | 26,154,913 |
| セグメント利益 | 2,743,962 | 39,063 | 535,150 | 3,318,176 | △586,161 | 2,732,015 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△586,161千円には、セグメント間取引消去17,959千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△604,120千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|----------------------------|-------------------------|---------------------|-------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | アーティスト マネージメント 事業 | メディア ビジュアル 事業 | コンテンツ 事業 | 計 | | |
| 営業収入 | | | | | | |
| 外部顧客への 営業収入 | 23,969,676 | 4,019,789 | 1,817,045 | 29,806,511 | — | 29,806,511 |
| セグメント間 の内部営業収 入又は振替高 | 51,134 | 247,422 | 102,729 | 401,287 | △401,287 | — |
| 計 | 24,020,811 | 4,267,212 | 1,919,774 | 30,207,799 | △401,287 | 29,806,511 |
| セグメント利益 | 3,060,791 | 275,952 | 624,689 | 3,961,433 | △624,548 | 3,336,884 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△624,548千円には、セグメント間取引消去5,393千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△629,941千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成27年1月20日開催の取締役会において、当社の全額出資の連結子会社であるアミューズソフトエンタテインメント株式会社(以下アミューズソフト)を、平成27年3月1日付で吸収合併することを決議いたしました。

1. 合併の目的

アミューズソフトは、主に映像作品の制作、パッケージ製造、販売を行っておりますが、メディアチェンジ等業界環境の変化を背景に、近年市場規模の縮小が進んでおります。同社は平成22年3月期の構造改革を踏まえ、アミューズアーティスト出演の映像作品、当社グループがマネジメントしているアーティストの音楽作品を増やし、コンテンツの制作からパッケージまで一貫したビジネスモデルのシェアを高めることで、財務体質の改善を行い一定の結果を残すことができました。

しかしながら、市場環境は引き続き厳しい状況であり、今回コンテンツホルダーである当社がメーカーであるアミューズソフトを吸収合併することとし、一体化することで案件創出機能の強化、プラットフォームの共有化、機能の統合によるさらなる効率化、事業の迅速化を行い、今後のアミューズグループ全体のメディアビジュアル事業の再構築・強化を図ります。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

| | |
|-------------|---------------|
| 合併決議取締役会 | 平成27年1月20日 |
| 合併契約締結日 | 平成27年1月20日 |
| 合併期日(効力発生日) | 平成27年3月1日(予定) |

本合併は、当社においては会社法第796条第3項に規定する簡易合併であり、アミューズソフトにおいては会社法第784条第1項に規定する略式合併であるため、いずれも合併契約承認株主総会は開催しません。

(2) 合併方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、アミューズソフトは解散いたします。

なお、アミューズソフトは債務超過状態ですが、合併に先立ち当社がアミューズソフトに対して有する債権を一部放棄し、アミューズソフトにおいては債務免除益を計上することにより債務超過状態が解消されます。

(3) 合併に係る割当ての内容

当社の100%連結子会社との吸収合併であるため、本合併による新株式の発行及び資本金の増加並びに合併交付金の支払いはありません。

(4) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

アミューズソフトは、新株予約権及び新株予約権付社債を発行しておりません。

3. 合併当事会社の概要 (平成26年3月31日現在)

| | 吸収合併存続会社 | 吸収合併消滅会社 |
|----------------------|--|-----------------------|
| (1) 商号 | 株式会社アミューズ | アミューズソフトエンタテインメント株式会社 |
| (2) 所在地 | 東京都渋谷区桜丘町20番1号 | 東京都世田谷区中町五丁目16番3号 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 畠中 達郎 | 代表取締役社長 畠中 達郎 |
| (4) 事業内容 | アーティストマネジメント、映画・テレビ番組の企画制作など | 映像作品の制作、製造、販売 |
| (5) 資本金 | 1,587,825千円 | 450,500千円 |
| (6) 設立年月日 | 昭和53年(1978年)10月16日 | 平成6年(1994年)4月1日 |
| (7) 発行済株式数 | 9,311,760株 | 6,000株 |
| (8) 決算期 | 3月31日 | 3月31日 |
| (9) 大株主及び持株比率 (注) | 株式会社オオサト 27.05% 大里洋吉 2.61% 大里久仁子 2.53% アミューズアーティスト持株会 2.51% | 株式会社アミューズ 100.00% |
| (10) 純資産 | 17,215,754千円 (連結) | △1,046,971千円 (単体) |
| (11) 総資産 | 24,791,678千円 (連結) | 1,960,625千円 (単体) |
| (12) 1株当たり純資産 | 1,940.83円 (連結) | △174,495.33円 (単体) |
| (13) 営業収入 | 33,770,531千円 (連結) | 4,379,503千円 (単体) |
| (14) 営業利益 | 3,644,404千円 (連結) | 134,279千円 (単体) |
| (15) 経常利益 | 3,769,181千円 (連結) | 104,540千円 (単体) |
| (16) 当期純利益 | 2,205,738千円 (連結) | 71,115千円 (単体) |
| (17) 1株当たり 当期純利益 | 250.16円 (連結) | 11,852.58円 (単体) |

(注) 株式会社アミューズの持株比率は自己株式(678,541株)を控除して計算しております。

4. 合併後の状況

本合併による当社の商号、事業内容、本店所在地、代表者、資本金及び決算期の変更はありません。

5. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日公表分)に基づき、共通支配下の取引として処理をする予定です。